

日本発ドイツ便り：ドイツ最古と世界最古



Regensburgにはいくつか「〇〇最古の」場所があります。

その一つがここ。Café Prinzess（カフェ・プリンツェス）私がこの街に行くときには必ず寄るお菓子屋さん。

Deutschlands erstes Café-Haus。ここは1686年に開業した「ドイツ最古」のカフェなんです。

恐らくドイツの基準からするとかなり高級なお菓子屋さんの部類に入っているのですが、いつも小さなお店は混雑しています。1階がお店、2階がカフェになっているのですが、混んでいてなかなか入れません。（私の過去3回の経験での話なので、お茶の時間を少し外せば問題ないのかもしれませんが。）

前回出てきた Thurn und Taxis 侯爵家の御用達のお店でもあります。4回目のトライとなった今回。お店を覗くと、ちょっと空いているように見えます。もしや！と期待しつつ2階に上ってみると、なんと、窓際のいい席が空いていました。当然ケーキも食べねば。☺まずは座席を確保して、飲み物を注文して、ケーキを下に見に行きます。

どれもこれもおいしいそうなケーキが何種類も並んでいます。その中から、「このケーキを上のカフェで食べたい」と伝え、番号の書いたメモを渡されます。またカフェに戻って、そのメモを係の人に渡して、注文完了！あとは、窓から見えるご機嫌な景色を眺めながら待ちます。

テーブルからの風景はこんな感じ。見えているのは、お店の正面にある旧市庁舎です。下の方の窓とか、窓の枠はだまし絵になっています。



しばらくしてケーキ到着。今回は、ちょっと軽めに、キイチゴとかベリーたっぷりのケーキを選びました。結構すっぱいので今回は Sahne（ザーネ：砂糖なしの生クリーム）を添えて。ある種のケーキを頼んだときに、お店の人が Mit Sahne?（ミット・ザーネ?：クリームつけますか?）と聞くときは、まあ通常は Sahne 付で食べるケーキなんだと思ってよいと思います。たいていは Sahne ありの方がおいしく食べられるので、聞かれたら Ja, bitte!（ヤー、ビッテ：お願いします）と頼んでみてください。ただし有料で+50円~100円くらいの感じですよ。Sahne はもちろんコー

ヒーにも流用できます。もちろん好みの問題なので、Sahne なしでも全く問題ないです。いらぬ時は Nein, danke（ナイン、ダンケ：いりません）と教えてください。

ドイツのケーキって、ウィーンのほど洗練されているわけではないし、その大きさにビックリするのですが、素朴で美味しいんですよ。（ドイツ料理にも同じことが言えるかもしれません。）特に季節の果物たっぷりのケーキはお勧めです。

お茶する時間がない人にも、持ち帰りできるこのお店のチョコレートやお菓子はネーミング（プレゼント用のパッケージも素敵です）も凝っていて、どれを食べても芸術的な美味しさです。



そしてもう一つの「ドイツ最古」はドナウ河にかかる Steineme Brücke (シュタイネルネ・ブリュッケ：石橋)。1135年から1146年に創られた長さ336メートル、幅8メートルの橋です。今は歩行者と自転車専用の橋になっています。

この橋の上から眺めるドナウ河と Regensburg の大聖堂と旧市街の街並みは何度眺めても飽きない大好きな風景ではあるのですが、私がこの橋を渡るときには必ず雨が降るんです。何で？



こちらは雨の中。そして右の写真は別の年のある夏の日に。でもその時も、腫れていたのに、急に雨が降ってきたような記憶が…。☺

そして最後に Regensburg の皆の誇り。「世界最古」はこのお店



Historische Wurstküchle (ヒストリーッシュェ・ヴルストクーヒェル：歴史的ソーセージ料理店、という意味合いです)。Bratwurst (ブラートヴルスト：焼きソーセージ) のレストランです。もともと、石橋が建造された12世紀前半、土木石作業員の軽食堂としてオープンしたのが始まりだそうです。名物は、この街の Regensburger (レーゲンスブルガー) という小さ目のソーセージを炭火で焼いた

ものに自家製の Sauerkraut（ザウークラウト：酢漬けのキャベツ）と Senf（ゼンフ：マスタード）を添えたもの。いつも人だかりです。

同じく、Nürnberg の Bratwurst、Nürnberger（ニュルンベルガー）はドイツ全国もしくは世界的に有名ですが、Regensburg の人に言わせれば、Nürnberger よりも Regensburger の方がおいしいそうです。☺
どっちがおいしいかは、是非ご自身で食べ比べしてみてくださいね。

このお店、もともとは「ドイツ最古の焼きソーセージ屋」と言っていたのですが、色々調べていくうちに、ドイツ最古どころか、世界最古であることが判明したのだとか。（この一件で「一番」好きの Regensburg の人たちの鼻がさらに高くなった。というのは周辺都市の人たちからの評価だそうです。☺）

橋の上から見ると、川岸に、いつも煙突から煙がもくもくのこのお店が見えます。でもその風景って、遙か昔（850年以上！）から、変わらないのかと思うとなんだか不思議です。

橋ができたころの風景は想像もつきませんが…。ちなみに大聖堂は1275年に着手して、尖塔まで全部完成したのが1869年だったそうです。気が遠くなるような大工事ですね。



2000年以上の歴史を持つ、ドナウ河沿いの世界遺産の街 Regensburg で（もうこれだけでスゴイけど）、ドイツ最古と世界最古も体験してみませんか？☺